

1. 地域概要

計画名	持続可能な佐渡観光の推進に向けた受入環境整備事業
対象エリア	佐渡島
実施主体	佐渡市
年間観光客入込数	約44万人(R5年)
年間延べ宿泊者数	約32万人(R5年)
主な観光資源	史跡佐渡金山、きらりうむ佐渡、鶴子银山、西三川砂金山、西三川ゴールドパーク、トキの森公園、たらい舟



佐渡金山 道遊の割戸



矢島経島 たらい舟

● 観光ビジョン

地域コミュニティの活性化
～持続可能な地域創生～
～観光と暮らしの連動～

- ・ 自然・文化と調和した観光スタイルの形成
- ・ 地域内外が連携した高付加価値観光の推進
- ・ 国内外に適用する「佐渡（SADO）」のブランディング
- ・ データに基づいたマーケティングに立脚した観光政策の立案

● 推進体制（協議の場）

佐渡市地域公共交通活性化協議会

まちづくりとの連携・一体性を確保しながら交通ネットワークの構築やサービス向上を図り、多様な主体が支える持続可能な公共交通の実現に向けた佐渡市地域公共交通計画策定に向けて検討を進める

行政機関

北陸信越運輸局

新潟県
交通政策局

佐渡地域振興局

佐渡警察署

事業者

新潟交通佐渡(株)

佐渡地区
ハイヤー協会

佐渡汽船(株)

一般社団法人
佐渡観光交流機構

住民関係者

佐渡市民生委員
協議会

佐渡市社会福祉
協議会

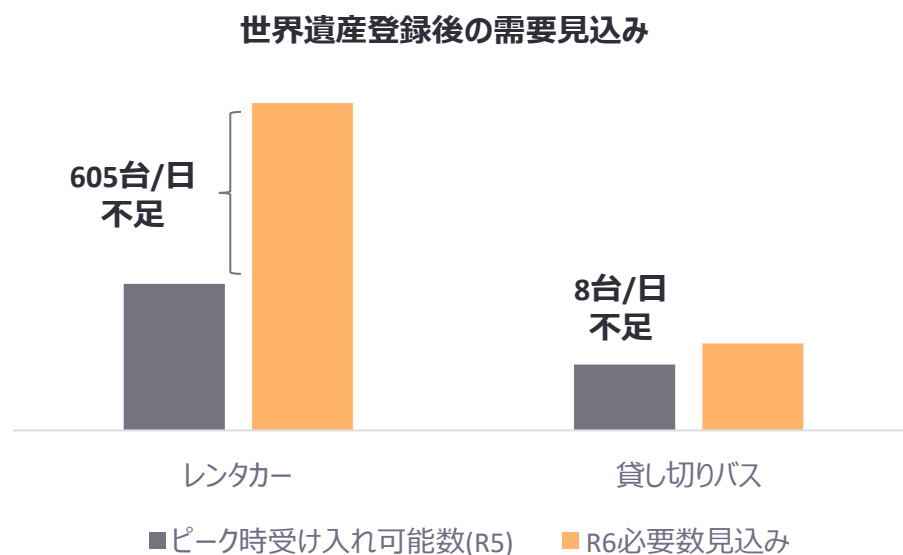
佐渡市女性団体
連結協議会

2. 課題

● 主な課題

	主な現状・問題点	影響を受けている主な対象
1. 二次交通不足による観光客の満足度低下	- バスやタクシーの台数や運転手が不足しており、二次交通が十分でない - 特に世界遺産登録により観光客数が増加しており、繁忙期はレンタカーも足りていない - 二次交通不足は、観光客の佐渡観光に対する満足度低下に繋がる可能性がある	観光客
2. 渋滞や混雑の発生	- 今回世界遺産に登録された鶴子銀山や西三川砂金山周辺は、片側一車線道路であるため、マイカー利用が増えると渋滞等が発生する可能性がある - 島の店舗は限られているため、急増する観光客に効率的に対応していかなければ、混雑や行列が発生する可能性がある	住民・観光客
3. 住民や地域資源への影響	- 世界遺産登録を機に観光スポットとして注目される笹川集落等は、観光客急増による渋滞発生などにより、住民生活に影響が出る可能性がある - 観光客が急増すると、世界文化遺産の保全に影響が出る可能性がある	住民・地域資源

1. 二次交通が不十分



2. 渋滞や混雑の発生



世界文化遺産の構成文化財
鶴子銀山にある唯一の駐車場

3. 背景・要因

● 課題の背景・要因

主な背景・要因

- | | |
|-------------------|--|
| 1. 世界遺産登録による観光客急増 | <ul style="list-style-type: none">世界遺産登録により、観光客が増加しているが受け入れ環境の整備が追いついていないバスやタクシーの運転手や車両、飲食店の人手も不足しているため、急増する観光客を受け入れられない多くの飲食店がキャッシュレスに対応できていなかったり、解説がないと理解が難しい観光スポットが存在する |
| 2. マイカー移動が主流の観光地 | <ul style="list-style-type: none">公共交通機関が脆弱であり、多くの観光スポットへの移動手段がマイカーに限定されやすいマイカー利用が多いため交通渋滞が発生しやすい |
| 3. 生活エリアと観光資源の重複 | <ul style="list-style-type: none">佐渡は住民が作り上げてきた文化が観光資源になっているため、生活環境と観光客の動線が重複しやすい笹川集落など住民の居住地近くへの来訪機会が増えており、渋滞や地域の大切にしてきた資源への影響の問題が起きやすい |

1. 世界遺産登録による観光客急増



- 世界遺産登録後、9月の観光入込客数は昨年と比較し1割増加
- 10月以降は団体旅行の予約が好調（10月は37.1%増、11月は49.5%増）

3. 生活エリアと観光資源の重複



世界文化遺産の構成資産「西三川砂金山」

- 西三川砂金山で財を成した笹川集落は、現在も住民が住んでおり、観光資源（集落内にもある）と密接している

4. 対策の概要

- 世界文化遺産登録により増加が見込まれる来訪者に対応するため、二次交通の充実を図る(取組み①～③)
- 域内事業者(特に飲食店)においてキャッシュレス決済システムを導入する(取組み④)
- 島内の貸切バスが不足しているため、島外からの団体バス輸送に対して補助金による支援を行う



受入環境の整備・増強

取組み

①パークアンドライドの推進

内容

- 世界文化遺産登録により来訪者の増加が見込まれ、島内二次交通の不足と入場施設の駐車場満車による待機渋滞が懸念される。また時期限定で春から初夏に集中しているトレッキングや花鑑賞に関しては、公共交通が整備されておらず、駐車場の収容能力が十分ではない
- 港直行のライナーバスを走らせることで、二次交通の充実を図る
- 世界遺産ライナーバス：両津港とガイダンス施設きらりうむ佐渡間のバス運行
- ネイチャーライナーバス：両津港とドンデン高原、金北山、大野亀を結ぶバス運行

取組み

②相川地区内への人流増加対策（相川周遊バス）

内容

- 世界文化遺産登録された場合、来訪者の増加が見込まれ、島内二次交通の不足と入場施設の駐車場満車による待機渋滞が懸念される
- 相川地区において周遊バスを運行する

取組み

③世界文化遺産構成資産への乗用車の流入抑制(ガイドツアー)

内容

- 西川砂金山や鶴子銀山への道路が片側一車線であり、渋滞等が発生する可能性があるため乗用車に限らない周遊観光のアクセス手段を造成する

取組み

④域内事業者におけるキャッシュレス導入

内容

- 世界遺産登録による来訪者増加に対応するため、域内事業者（特に飲食店）においてキャッシュレス決済システムを導入する

需要の適切な管理

取組み

⑤貸切バス利用団体需要の維持（貸切バス不足支援）

内容

- 島内の貸切バスが不足しており、佐渡観光の機会を損失しているため、貸切バス航送料1/2支援、バス乗務員経費支援を行う

5. 主な取組み（詳細）

課題

- 世界遺産登録による観光客の急増に対応
- 二次交通不足による観光客の満足度低下

取組み

相川地区内への人流増加対策（相川周遊バス）

- 実施期間：令和6年4月～令和7年2月
- 実施主体：佐渡市

事業内容

■ 周遊バスの概要

- ガイド施設「きらりうむ佐渡」⇔佐渡金山を周遊するバスを運行
- 運行車両：中型バスもしくはジャンボタクシー
- 料金：無料
- 運航本数：1日5便
- 運行期間：令和6年4月26日(金)～10月31日(木)の189日間

【背景・目的】

- 佐渡金山がある場所は、居住エリアが近く、道路は狭小となっている。また、佐渡金山の駐車場は台数に限られるため、世界文化遺産登録効果により満車となる可能性がある。
- 人流増加対策として、佐渡金山への自家用車、レンタカーの乗り入れを制限し、交通渋滞を未然に防止するため、周遊バスを運行する

バスルート



相川周遊バス
専用バス停



リーフレット

時刻表 Schedule

佐渡金山 行					
きらりうむ佐渡	10:00	11:00	12:30	13:30	14:30
相川 (教員専用バス)	10:05	11:05	12:35	13:35	14:35
相川博物館前 (佐渡市立図書館前)	10:07	11:07	12:37	13:37	14:37
佐渡金山	10:08	11:08	12:38	13:38	14:38
佐渡金山	10:13	11:13	12:43	13:43	14:43
きらりうむ佐渡 行					
佐渡金山	10:20	11:20	12:50	13:50	14:50
佐渡金山	10:23	11:23	12:53	13:53	14:53
相川博物館前 (佐渡市立図書館前)	10:24	11:24	12:54	13:54	14:54
相川 (教員専用バス)	10:30	11:30	13:00	14:00	15:00
きらりうむ佐渡	10:32	11:32	13:02	14:02	15:02

運行時刻表

成果及び今後に向けて

令和6年度事業の目標

- 周遊バスを実証運行し、相川地区内への人流増加対策への有効性を検証。
- 指標として、利用人数（時期、時間帯別）、満足度を測定
- アンケートを実施し、次年度以降の運行に活かす

事業の成果／目標の検証結果

- 利用実績及び利用者の声から、一定の有効性あり
- 一方で、時期や時間帯により利用に偏りがあるなど、効率化などを検討していく必要があることが明らかとなった
(利用実績)
 - 周遊バスの利用者数 計**4,537名**
 - 特に8月の夏休み期間の需要が多い
 - 時間帯により利用が少ない便も存在

成果詳細

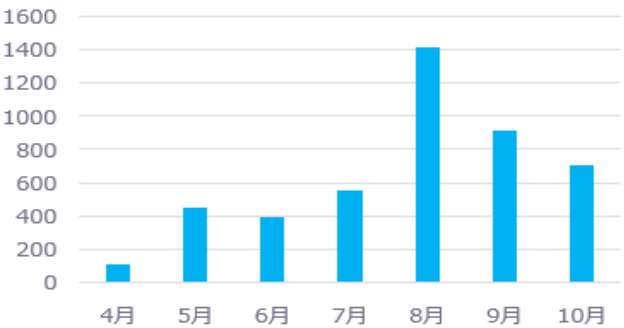
周遊バス実証運行の結果

- 周遊バスの利用者は計4,537名が
- 全利用者のうち、約30%が8月に集中しており、夏休み期間の需要が多い
- 中型バス（定員30名弱）とジャンボタクシー（定員8名）を併用していたが、**繁忙期以外はジャンボタクシーで対応可能な**利用人数であることが明らかとなった
- 利用が少ない時間帯が存在した**（10:20佐渡金山発、13:30及び14:30きらりうむ発）

アンケート結果

- ①バス運行本数：「1便の増便希望」との回答が過半数を占めた
- ②利用者の声
 - バスの本数が少なくて困っていたので、助かった
 - 時間通りにきて、無料で素晴らしかった
 - レンタカーなしで佐渡金山の観光を楽しめて、助かった
 - 他の観光施設へ向かうバスが少ないので、設定して欲しい

『相川周遊バス』月別乗車実績（人）



30%が8月に集中

月	合計	1便(往)	1便(復)	2便(往)	2便(復)	3便(往)	3便(復)	4便(往)	4便(復)	5便(往)	5便(復)
		きらりうむ 発 10:00	佐渡金山 発 10:20	きらりうむ 発 11:00	佐渡金山 発 11:20	きらりうむ 発 12:30	佐渡金山 発 12:50	きらりうむ 発 13:30	佐渡金山 発 13:50	きらりうむ 発 14:30	佐渡金山 発 14:50
4月	109	29	18	7	9	13	7	0	9	4	13
5月	450	75	25	17	70	29	83	20	54	21	56
6月	391	55	14	18	79	36	44	24	37	17	67
7月	558	82	18	33	98	54	87	34	43	25	84
8月	1,417	220	36	106	194	133	272	51	115	90	200
9月	910	132	37	55	150	88	135	42	95	53	123
10月	702	141	24	38	140	70	103	35	54	24	73
	4,537	734	172	274	740	423	731	206	407	234	616

一部の時間帯の需要が少ない

5. 主な取組み（詳細）

課題

- ・ 世界遺産登録による観光客の急増に対応
- ・ 二次交通不足による観光客の満足度低下

取組み

パークアンドライドの推進（ライナーバス）

- ・ 実施期間：令和6年4月～令和7年2月
- ・ 実施主体：佐渡市

事業内容

A：世界遺産ライナーバス

- ・ 料金（片道）1,000円
- ・ 両津港とガイダンス施設「きらりうむ佐渡」を結ぶ
- ・ 運行期間：7/26～8/31
- ・ 運行本数：3便/日（両津港発2便、きらりうむ佐渡発1便）

B：ネイチャーライナー（3路線）

- ・ 料金
 - ・ ドンデン高原（料金:2,000円）
 - ・ 金北山（料金:1,700円）
 - ・ 大野亀（料金:1,500円）
- ・ 路線
 - ・ 両津港とドンデン高原、金北山、大野亀を結ぶ3路線
- ・ 運行期間
 - ・ 4/27～5/31（ドンデン高原、金北山）
 - ・ 5/25～6/9「土・日のみ」（大野亀）
- ・ 運行本数
 - ・ ドンデン高原 4便/日（両津港発2便、ドンデン高原発2便）
 - ・ 金北山 1便/日
 - ・ 大野亀 2便/日（両津港発1便、大野亀発1便）

【背景・目的】

- ・ 世界文化遺産登録を機に、マイカー来訪による渋滞などが懸念される
- ・ 島内二次交通対策及び入場施設の駐車場待機渋滞を緩和するため、観光地までの直行バスを運行する（パーク＆ライドの推進）



成果及び今後に向けて

令和6年度事業の目標

A：世界遺産ライナーバス

- ・ 両津港とガイド施設「きらりうむ佐渡」を結ぶ「世界遺産ライナーバス」を実証運行し、ニーズや利便性を確認する

B：ネイチャーライナーバス

- ・ 従前から実施していた「ネイチャーライナーバス」のさらなる利用拡大を図るため、関係者および利用者にヒアリング調査を実施する

事業の成果／目標の検証結果

A：世界遺産ライナーバス

- ・ **利用者数は計154名と想定（3,330名）よりも少ない結果**となった。今後、観光客ニーズを踏まえルートなどを再検証する

B：ネイチャーライナーバス

- ・ **利用者数は計1,998名と花鑑賞やトレッキングを目的**に来島される方に対して、**利便性を確保**することができた

成果詳細

世界遺産ライナーバスの結果

【実証運行の結果】

- ・ 利用者数は計154名で、想定ほど需要が無かった
- ・ 要因としては、**路線バスとライナーバスで所要時間があまり変わらなかったこと**、また「きらりうむ佐渡」の認知度が低く、**直接、佐渡金山に向かうことのできる路線バスを選択する人が多かった**ためと考えられる

【アンケート結果】

- ① 乗車料金：1,000円までなら利用と過半数が回答
- ② 運行本数：1本以上増便希望と過半数が回答
- ③ 利用者の声：
 - ・ 路線バスより快適
 - ・ 事前に旅行計画が立てやすい
 - ・ 復路が少なく、船とのアクセスが悪い
 - ・ 路線バス、観光バス、周遊バスと混在しており、港についてから乗り場や時間が分かりにくい
 - ・ 路線バスは金山に直通で行けるが、このバスは行けないので安くするか金山直通にしてほしい
 - ・ 現金が足りず乗れなかったので、事前決済やキャッシュレスを導入して欲しい

ネイチャーライナーバスの結果

【実証運行の結果】

- ・ 利用者数は計1,998名で、花鑑賞やトレッキングを目的に来島される方に対して、**利便性を確保**することができた

【ヒアリング結果】

- ①利用者の声
 - ・ 一部のバス停においてランドマークから数100m離れており、バス停が見つけづらい
 - ・ 運行の事前周知の開始時期を早めてほしい
- ②関係者ヒアリング結果
 - ・ 一部の利用者において、バス停の位置がわからず出発時間に間に合わないという事例があった
 - ・ 乗車料金値上げに対しては、利用者にも一定程度の理解が見られ、否定的な意見は聞かれなかった

令和6年度取り組みから見えてきた課題

1 周遊バスの運用の効率化

- 10:20佐渡金山発、13:30及び14:30きらりうむ発等、利用人数の少ない時間帯が存在した
- 繁忙期である8月の夏休みシーズン以外はジャンボタクシーで問題ないことが明らかになった

2 観光客ニーズを踏まえた世界遺産ライナーバスの運用見直し

- 「きらりうむ佐渡」発着にしたが、両津港から直接、「史跡佐渡金山」に向かう需要の方が高かった
- 「きらりうむ佐渡」の認知度が低く、直接、佐渡金山に向かうことのできる路線バスを選択する人が多かった
- 路線バスと比べ、10分の時間短縮にしかならず、差別化に繋がりにくかった

3 周遊バス及びライナーバスの利用促進

- 周遊バスやライナーバスの存在を知らない方も存在した
- 8月の繁忙期は駐車場が満車になる日もあり、レンタカーではなく公共交通バスの利用を促していく必要がある

令和7年度以降に取り組むべきと考えること

1 ダイアの再考及びジャンボタクシーの活用

- 最終便の往路（佐渡金山発）を1便増やす
- ハイシーズンのみ中型バスを利用し、その他はジャンボタクシーを活用することで効率化を図り、無料運行を継続できるようにする
- 令和7年度の運行期間については、検討中

2 観光需要の高い場所を含めた定期観光バスの運行

- 「きらりうむ佐渡」に立ち寄り、理解を深めてから金山を訪問できるよう、「史跡 佐渡金山」等の観光需要の高い場所を含めた定期観光バスの運行を検討
- ネイチャーライナーバスについては、路線バスがないため継続して実施予定だが、花鑑賞やトレッキングの利用者を伸ばすことや乗車賃の値上げを検討

3 旅行前段階からの周知

- 旅行前段階からの周知を積極的に行い利用者数を増やす
- 佐渡観光交流機構が運用しているSNSで早めの情報発信を行う（特にGW前や夏休みシーズン前に重点的に周知）
- 佐渡汽船内や新潟港での効果的な発信を検討